

未来につなぐお人柄



エス!エス!エスディーゼス

SDGs



のみSDGs
ホームページ

問 / 企画地域振興課SDGs推進室

(旧企画デジタル課SDGs推進室) (☎ 58 - 2212 FAX 58 - 2291)

未来を見据えてSDGsプロジェクトを考える

のみSDGsパートナーズ勉強会&交流会では、これまで「地域課題を知る」「強みの活かし方」について学び、2月22日に実施した第3回勉強会&交流会では「SDGsプロジェクトを考える」をテーマに開催しました。

講師の^{ひろいたくし}広石拓司さんは「自分にできることを進めながら大きな変化(未来の能美市)の実現に向けて果たせる役割を自覚して取り組むことが大切である」と話しました。パートナーズの事例発表では、商工女性まちづくり研究会が高齢者の買い物支援の必要性を感じて始めた移動販売活動について話し、「販売だけが目的ではなく、高齢者が育てた野菜を買い取り、移動先で販売するなど、高齢者の生きがいづくりにもなっている」と話しました。また^{さん}(株)日本海開発は給食残さ(調理くず)から作る有機肥料を使って、地元農家の協力のもと、子どもたちが大根づくり体験をしていることなどを紹介し、「子どもたちが地域の人たちと触れ合いながら体験することで地域への愛着が生まれる」と話しました。参加者からは「事例発表の取り組みがとても参考になった」「地域のつながりを感じ、横のつながりをもって一緒に取り組んでみたいと思った」などの感想がありました。

令和5年度も、のみSDGsパートナーズ勉強会&交流会を開催します。SDGsに興味のある人は、パートナーズに登録して参加してみませんか。



商工女性まちづくり研究会の^{まゆみ}平田美副会長は「儲けはないけど、12年間続けられているのは、やったからこそ分かる喜びがあるから」と話しました



(株)日本海開発の^{すみ}南純代社長は「子どもたちが描いた能美の未来を、大人たちが一緒に考え、実現していくことが大切」と話しました